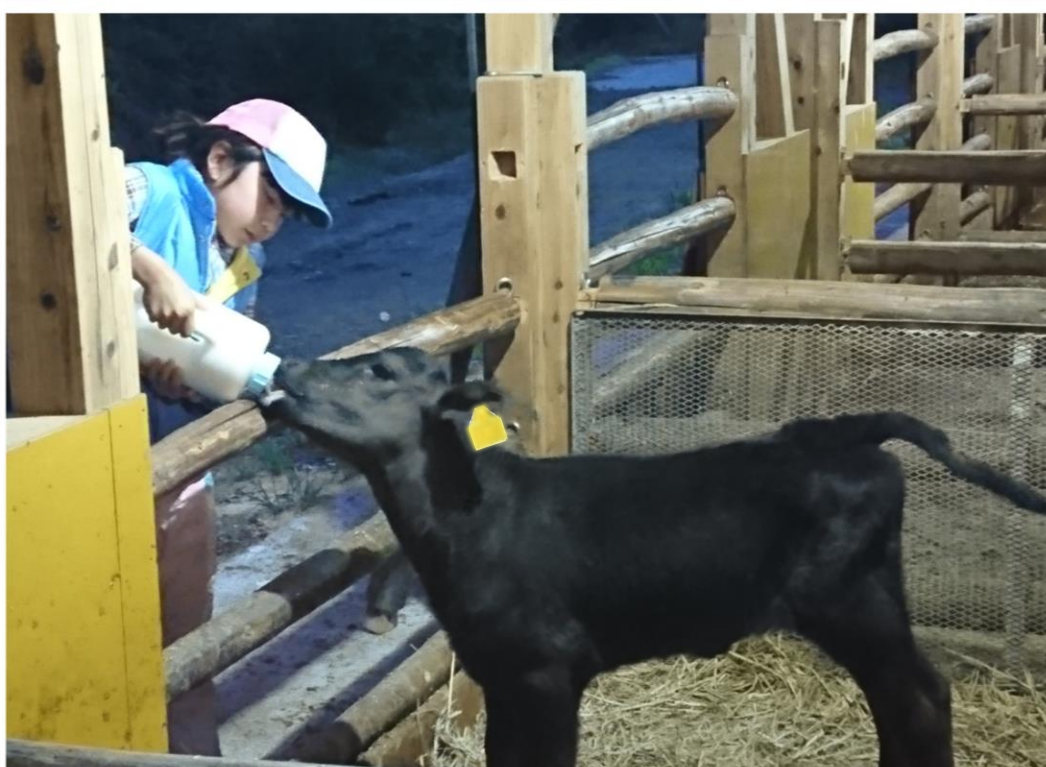


九州の畜産



◎ 国内産畜産物の消費拡大にご協力を！

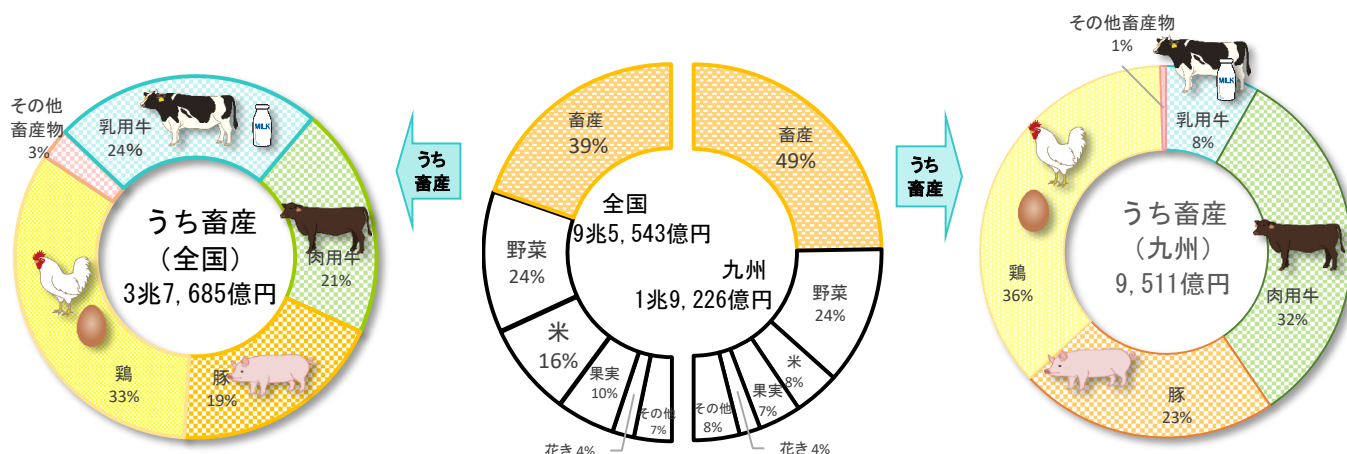
令和7年10月版
農林水産省
九州農政局 生産部 畜産課

九州の畜産 目次

1 畜産の位置付け	
1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合(令和5年)	1
2. 都道府県別・市町村別の畜産産出額トップ10	1
3. 畜種別農業産出額の推移(九州)	1
4. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合(令和5年)	2
2 乳用牛	
1. 乳用牛の飼養動向(九州)	4
2. 九州各県の乳用牛飼養の現状(令和7年2月1日現在)	4
3. 九州各県の経産牛飼養頭数(令和7年2月1日現在)	4
4. 生乳生産量及び用途別処理量	5
5. 九州各県の生乳生産量	5
6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和5年・九州)	5
3 肉用牛	
1. 肉用牛の飼養動向(九州)	6
2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和7年2月1日現在)	6
3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和7年2月1日現在)	6
4. 肉用子牛の取引価格(九州)	7
5. 肉用牛対象畜毎の1頭当たり収益性(令和5年・九州)	7
4 豚	
1. 豚の飼養動向(九州)	8
2. 九州各県の豚飼養の現状(令和6年2月1日現在)	8
3. 肥育豚1頭当たりの収益性(令和5年・九州)	8
5 ブロイラー	
1. ブロイラーの飼養動向(九州)	9
2. 九州各県のブロイラー飼養の現状(令和6年2月1日現在)	9
6 採卵鶏	
1. 採卵鶏の飼養動向(九州)	9
2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状(令和6年2月1日現在)	9
7 配合飼料	
1. 配合飼料生産の推移(九州)	10
2. 配合飼料工場渡価格の推移[バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込](全国)	10
8 粗飼料	
1. 飼料作物の作付面積の推移(九州)	10
2. 飼料作物作付の現状(令和6年産・九州)	10
3. 飼料用米作付面積の推移(九州)	11
4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移(九州)	11
5. 稲わらの利用量の推移(九州)	11
6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用量(令和5年産・九州)	11
7. 放牧面積の推移(九州)	12
8. 放牧頭数の推移(九州)	12
9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移(九州)	12
9 畜産環境	
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和5年12月1日現在・九州)	13
(1)管理基準適用対象農家戸数	13
(2)畜種別構造設備基準への適合状況	13
2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和6年・九州)	13
(1)苦情発生戸数推移	13
(2)畜種別苦情発生状況	13
(3)苦情内容の内訳	13
10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について	
JGAP畜産認証取得農場数及び一覧	14
11 家畜衛生	
1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和6年1月～12月)	15
2. 届出伝染病の発生状況(令和6年1月～12月)	15

1 畜産の位置付け

1. 九州の農業産出額と畜産の占める割合（令和5年）



資料：農林水産省 「令和5年農業産出額」

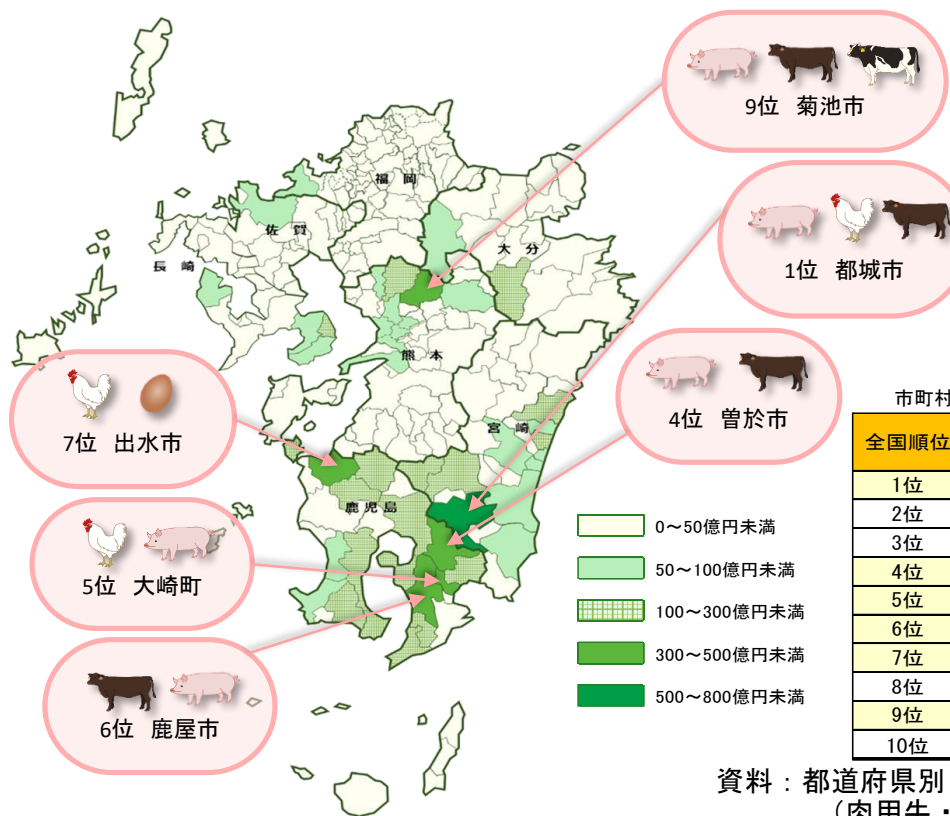
2. 都道府県別・市町村別の畜産産出額トップ10

都道府県別の畜産産出額トップ10（令和5年）

全国順位	都道府県	農業産出額 (うち畜産)
1位	北海道	7,837
2位	鹿児島	3,754
3位	宮崎	2,483
4位	岩手	1,975
5位	千葉	1,501
6位	熊本	1,371
7位	栃木	1,367
8位	茨城	1,353
9位	群馬	1,319
10位	青森	1,090

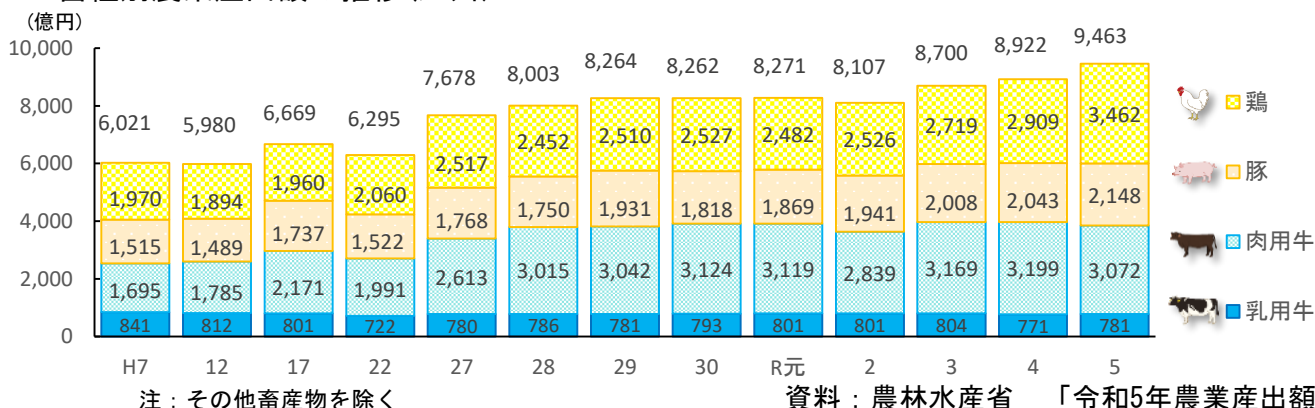
市町村別の畜産産出額トップ10（令和5年）

全国順位	都道府県	市町村	農業産出額 (うち畜産)
1位	宮崎	都城市	8,447
2位	北海道	別海町	6,367
3位	栃木	那須塩原市	4,093
4位	鹿児島	曾於市	3,863
5位	鹿児島	大崎町	3,640
6位	鹿児島	鹿屋市	3,504
7位	鹿児島	出水市	3,470
8位	千葉	旭市	3,395
9位	熊本	菊池市	3,393
10位	群馬	前橋市	3,026



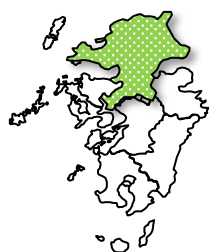
資料：都道府県別・市町村別農業産出額のうち畜産（肉用牛・乳用牛・豚・鶏・その他畜産物）

3. 畜種別農業産出額の推移（九州）



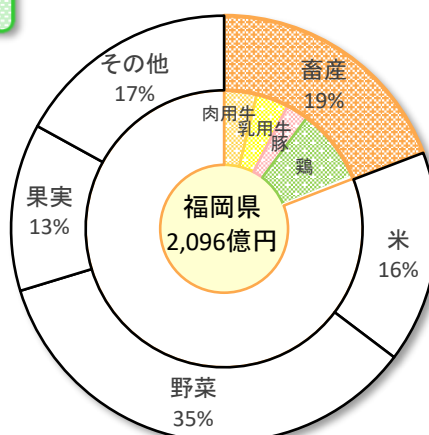
4. 九州各県の農業産出額と畜産の占める割合（令和5年）

福岡県の農業産出額 全国 17位

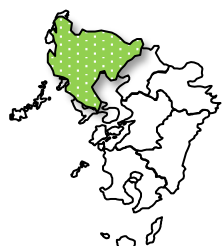


福岡県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

1位	2位	3位	4位	5位
				
米 338	いちご 244	鶏卵 118	ぶどう 99	肉用牛 79

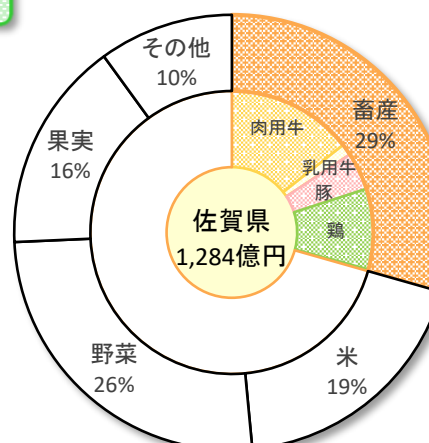


佐賀県の農業産出額 全国 27位

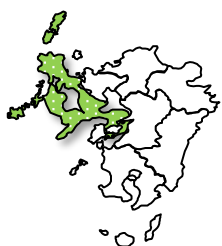


佐賀県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

1位	2位	3位	4位	5位
				
米 245	肉用牛 185	みかん 139	ブロイラー 101	いちご 91

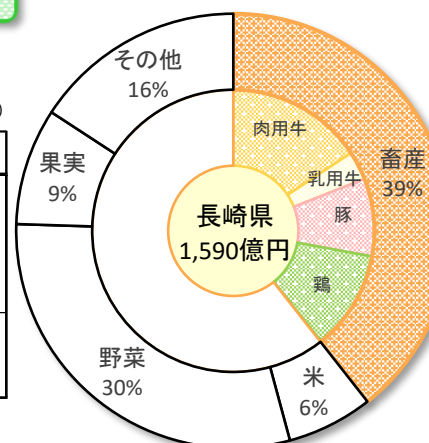


長崎県の農業産出額 全国 23位

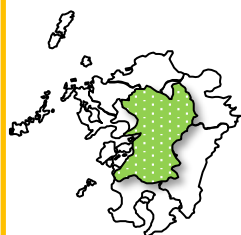


長崎県の農業産出額と品目別ベスト5（単位：億円）

1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 250	豚 142	いちご 127	ばれいしょ 115	みかん 105

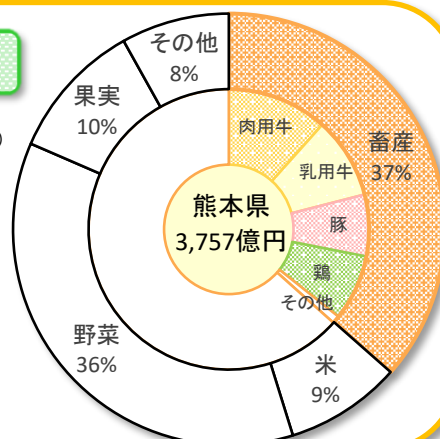


熊本県の農業産出額 全国 5位

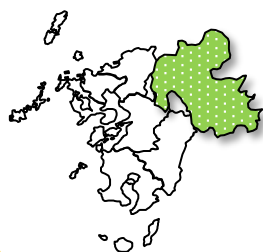


熊本県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 435	トマト 400	米 328	生乳 317	豚 265

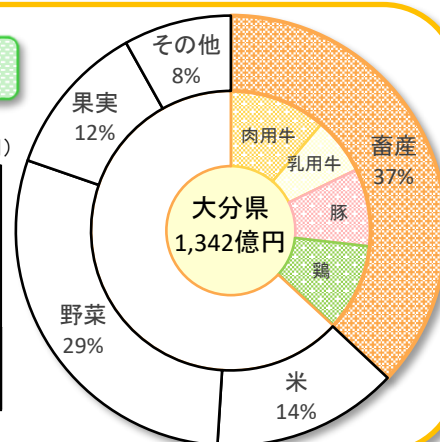


大分県の農業産出額 全国 25位



大分県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
米 188	肉用牛 150	豚 121	ねぎ 101	生乳 83

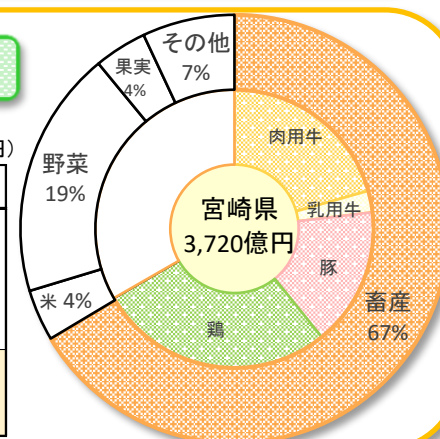


宮崎県の農業産出額 全国 6位

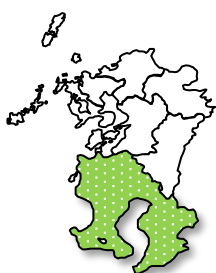


宮崎県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
ブロイラー 827	肉用牛 765	豚 600	きゅうり 196	鶏卵 166

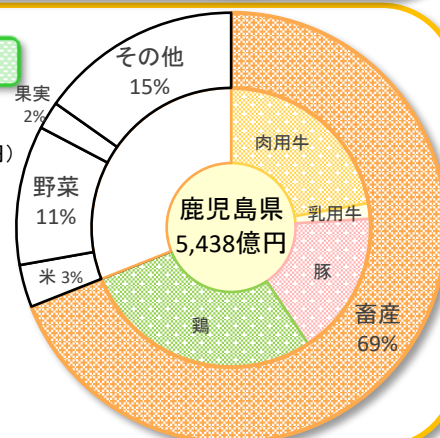


鹿児島県の農業産出額 全国 2位



鹿児島県の農業産出額と品目別ベスト5 (単位:億円)

1位	2位	3位	4位	5位
				
肉用牛 1,208	ブロイラー 1,067	豚 910	鶏卵 439	かんしょ 195

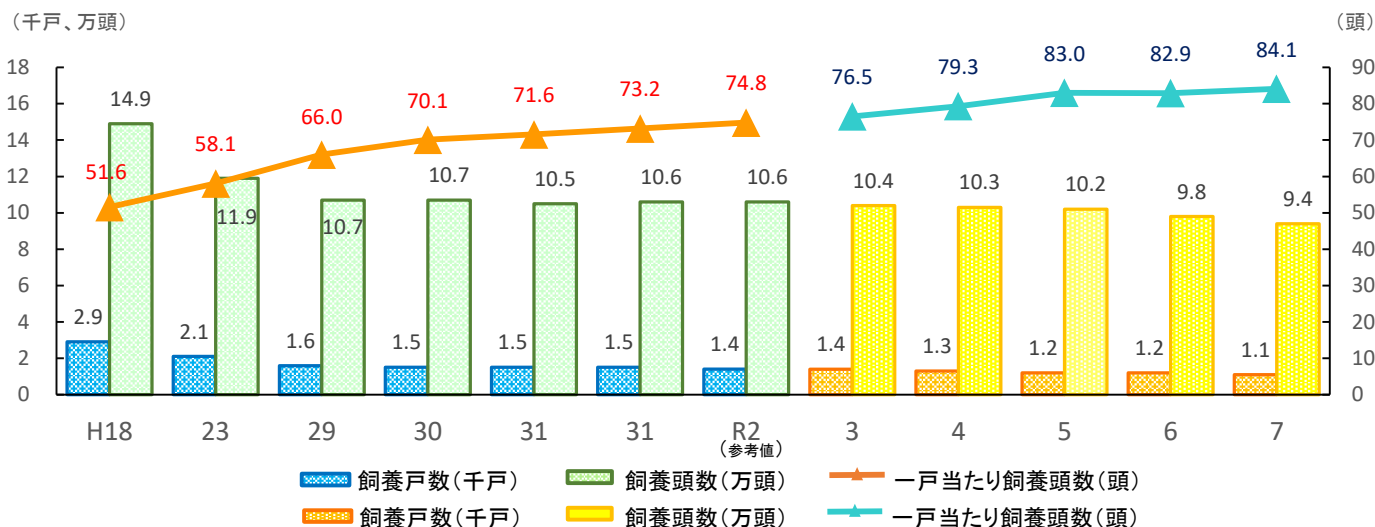


参考資料: 「農林水産省 農業産出額」

2 乳用牛



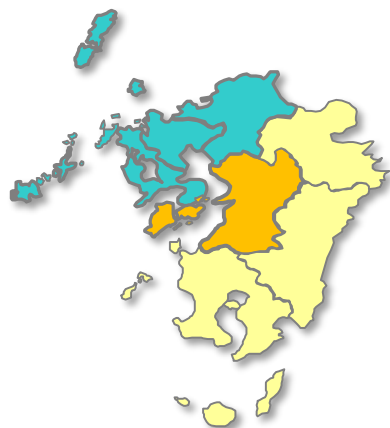
1. 乳用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の乳用牛飼養の現状(令和7年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の 全国順位
全 国	11,300	1,293,000	—
九 州	1,120	94,200	—
(九州／全国)	(9.9%)	(7.3%)	—
福 岡	144	9,530	21
佐 賀	28	1,740	43
長 崎	104	5,360	26
熊 本	438	41,900	3
大 分	94	11,900	14
宮 崎	187	12,400	12
鹿児島	124	11,300	17

飼養頭数 ■ ~1万頭 ■ 1万~3万 ■ 3万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の経産牛飼養頭数(令和7年2月1日現在)

単位：千頭、頭(1戸当たり頭数)

	H31	31(参考値) ※注	R2	3	4	5	6	7	一戸当たり 頭数
全 国	839.2	840.7	838.9	849.3	861.7	836.6	826.2	820.1	72.5
九 州	71.0	74.9	73.4	73.1	72.7	69.7	68.8	67.2	60.0
(九州／全国)	(8.5%)	(8.9%)	(8.7%)	(8.6%)	(8.4%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.3%)	—
福 岡	8.6		8.6	8.3	8.4	7.3	7.1	6.8	47.1
佐 賀	1.6		1.8	1.6	1.7	1.5	1.4	1.4	51.4
長 崎	5.4		5.5	5.4	5.3	4.9	4.6	4.4	42.6
熊 本	28.7		30.2	30.3	30.4	29.7	30.2	29.7	67.9
大 分	7.5		8.2	8.0	8.0	8.0	7.8	7.8	82.7
宮 崎	9.4		9.7	9.8	9.7	9.3	9.2	9.0	47.9
鹿児島	9.9		9.4	9.6	9.3	8.9	8.5	8.2	65.9

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 生乳生産量及び用途別処理量

単位：千ト、%

区分	31・R元	2	3	4	5	6	7(1-5月)
生乳生産量	7,314	7,438	7,591	7,617	7,299	7,357	3,185
(対前年増減率)	(0.3)	(1.7)	(2.0)	(0.3)	(▲4.4)	(0.8)	(0.9)
九州	615	621	633	617	582	573	249
(対前年増減率)	(▲2.0)	(1.1)	(1.9)	(▲2.5)	(▲6.0)	(▲1.6)	(▲3.2)
牛乳等向け処理量	4,000	4,019	4,000	3,977	3,850	3,824	1,554
(対前年増減率)	(▲0.0)	(0.5)	(▲0.5)	(▲0.6)	(▲3.3)	(▲0.7)	(▲0.3)
九州	427	438	411	428	415	408	166
(対前年増減率)	(1.3)	(2.6)	(▲6.6)	(4.1)	(▲3.1)	(▲1.7)	(0.0)
乳製品向け処理量	3,270	3,374	3,543	3,594	3,402	3,487	1,613
(対前年増減率)	(0.8)	(3.1)	(4.8)	(1.4)	(▲5.6)	(2.4)	(2.2)
九州	98	106	106	102	93	99	59
(対前年増減率)	(▲4.7)	(8.0)	(0.2)	(▲3.8)	(▲9.7)	(6.1)	(0.0)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

5. 九州各県の生乳生産量

単位：千ト、%

区分	31・R元	2	3	4	5	6	7(1-5月)	(対前年増減率)
全国	7,314	7,438	7,591	7,617	7,299	7,357	3,185	(0.9)
九州	615	621	633	617	582	573	249	(▲3.2)
(九州/全国)	(8.4%)	(8.3%)	(8.3%)	(8.1%)	(8.0%)	(7.8%)	(7.8%)	
福岡	76	74	73	68	61	59	26	(▲0.4)
佐賀	14	14	14	14	12	12	5	(0.0)
長崎	46	46	45	42	40	39	17	(0.0)
熊本	253	259	267	266	256	257	110	(3.6)
大分	69	71	72	70	68	67	29	(3.4)
宮崎	78	79	83	80	76	74	32	(3.1)
鹿児島	79	78	78	77	70	66	30	(0.0)

資料：農林水産省「牛乳乳製品統計」

6. 搾乳牛通年換算1頭当たりの収益性(令和5年・九州)

単位：円

粗収益 ①	生産物(生乳)		副産物価額 (円)	費用計② (内訳は以下の③~⑤参照)	所得 ①-②
	実搾乳量(kg)	価額(円)			
1,194,803	8,572	1,074,308	120,495	941,816	252,987

物財費 ③								雇用 労働費 ④	支払い利子・ 地代 ⑤
	飼料費	光熱水料 及び動力費	獣医師料及 び医薬品費	貸借料 及び料金	乳牛 償却費	農機具費	その他 物財費		
904,674	612,901	34,083	25,077	13,295	100,049	38,791	80,478	30,510	6,632

注1：副産物価額＝子牛(生後10日齢時点)及びきゅう肥。

注2：調査期間＝令和5年1月1日から令和5年12月31日までの1年間。

資料：農林水産省「畜産物生産費」

《参考》所得の計算式

畜産物生産費結果より以下の計算式によって求めた。(以下、肉用牛、肥育豚の所得計算とも共通)

粗収益(生産物+副産物価額の合計)－[生産費総額－(家族労働費+自己資本利子+自作地地代)]

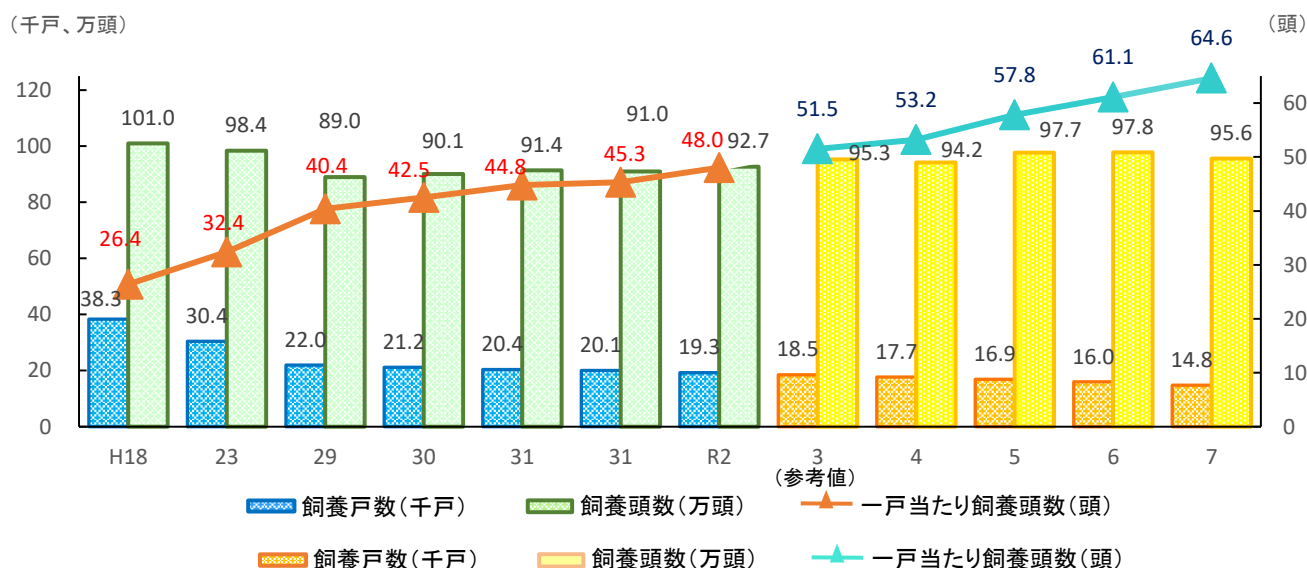
※ただし生産費総額＝費用合計+支払利子+支払地代+自己資本利子+自作地地代

注：所得には配合飼料価格安定基金や、各種補給金等の補助金は含まない。

3 肉用牛



1. 肉用牛の飼養動向（九州）



注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の肉用牛飼養の現状(令和7年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養頭数(頭)	飼養頭数の全国順位
全 国	34,000	2,595,000	—
九 州	14,800	956,300	—
(九州/全国)	(43.5%)	(36.9%)	—
福 岡	157	22,700	25
佐 賀	478	50,800	14
長 崎	1,830	91,100	5
熊 本	1,900	133,200	4
大 分	897	49,800	15
宮 崎	4,000	248,400	3
鹿児島	5,530	360,400	2

飼養頭数 ■ ~5万頭 ■ 5万~10万 ■ 10万~20万 ■ 20万~30万 ■ 30万~

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 九州各県の子取り用雌牛飼養頭数(令和7年2月1日現在)

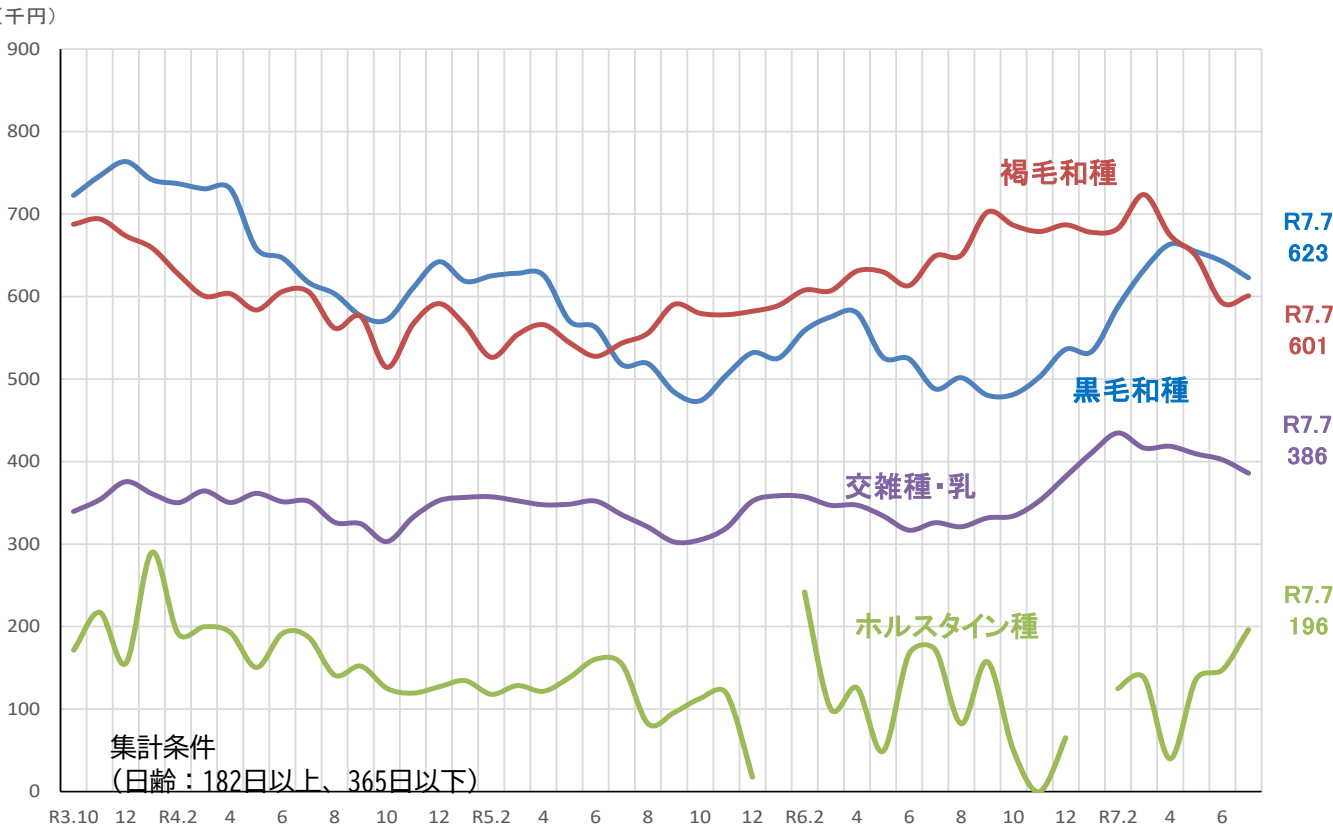
単位：千頭、頭(1戸当たり頭数)

	H31	31(参考値) ※注	R2	3	4	5	6	7	一戸当たり 頭数
全 国	625.9	605.3	622.0	632.8	636.8	645.2	640.4	611.4	18.0
九 州	304.9	287.9	297.2	304.3	306.4	312.9	314.6	304.1	20.5
(九州/全国)	(48.7%)	(47.6%)	(47.8%)	(48.1%)	(48.1%)	(48.5%)	(49.1%)	(49.7%)	—
福 岡	2.4		2.9	2.9	3.0	2.9	2.9	2.8	17.7
佐 賀	10.1		9.7	9.9	10.0	10.1	10.0	9.6	20.2
長 崎	29.4		29.3	30.6	30.6	30.9	31.0	29.5	16.1
熊 本	37.7		39.6	41.2	42.0	43.7	44.1	43.2	22.7
大 分	17.3		17.2	17.4	17.7	18.1	18.9	17.2	19.2
宮 崎	85.7		82.9	83.8	85.2	86.0	84.6	80.9	20.2
鹿児島	122.2		115.6	118.6	117.8	121.2	123.1	120.8	21.8

資料：農林水産省「畜産統計」

注：令和2年から統計手法が変更されたため、令和2年の統計手法を用いて集計した平成31年の数値を参考値として記載。

4. 肉用子牛の取引価格（九州）



注1：ホルスタイン種の令和6年1月及び令和7年1月は取引なし。
注2：令和6年5月以降は速報数値を掲載。

資料：農畜産業振興機構「肉用子牛取引情報」

5. 肉用牛対象畜毎の1頭当たり収益性(令和5年・九州)

単位：円

粗収益 ①	主産物(1頭あたり)			副産物価額(円) ※	費用計 ② (内訳は以下の③～⑤参照)	所得 ①－②
	販売時生体重(kg)	価額(円)				
子牛生産費(肉専用種)	555,744	287.9	532,293	23,451	586,425	△ 30,681
去勢若齢肥育牛生産費	1,329,726	802.1	1,321,726	8,000	1,433,298	△ 103,572
乳用雄肥育牛生産費	575,961	773.8	572,443	3,518	731,740	△ 155,779
交雑種育成牛生産費	776,134	841.9	769,600	6,534	837,013	△ 60,879

物財費 ③							雇用 労働費 ④	支払利子 ・地代 ⑤
	種付料	もと畜費	飼料費	獣医師料 及び医薬品費	繁殖めす 償却費	その他 物財費		
子牛生産費(肉専用種)	556,648	19,857	—	333,800	31,252	81,657	90,082	19,438
去勢若齢肥育牛生産費	1,406,272	—	831,131	494,918	11,866	—	68,357	17,169
乳用雄肥育牛生産費	722,177	—	291,392	391,058	3,187	—	36,540	3,203
交雑種育成牛生産費	825,436	—	380,917	404,513	2,119	—	37,887	6,916

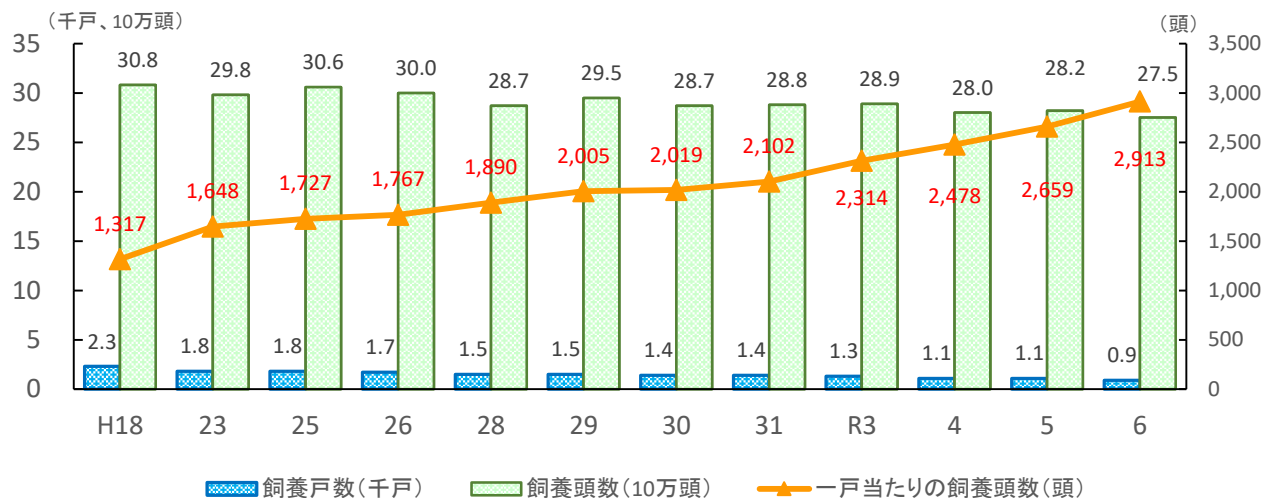
注1：副産物価額＝子牛生産費はきゅう肥、肥育牛生産費は事故畜及びきゅう肥。
注2：調査期間＝令和5年1月1日から令和5年12月31日までの1年間。

資料：農林水産省「畜産物生産費」

4 豚



1. 豚の飼養動向（九州）



資料：農林水産省「畜産統計」

2. 九州各県の豚飼養の現状(令和6年2月1日現在)



	飼養戸数	飼養頭数	飼養頭数の全国順位
全 国	3,130	8,798,000	—
九 州	945	2,753,000	—
(九州／全国)	(30.2%)	(31.3%)	—
福 岡	39	79,800	25
佐 賀	28	69,500	27
長 崎	67	181,200	15
熊 本	126	347,900	8
大 分	37	153,200	18
宮 崎	261	721,900	3
鹿児島	387	1,200,000	1

飼養頭数 ~10万頭 10万～20万 20万～50万 50万～100万 100万～

注：平成22年、27年、令和2年、令和7年は農林業センサス実施年のため調査休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

3. 肥育豚1頭当たりの収益性（令和5年・九州）

粗収益 ①	生産物		副産物価額(円) ※	費用計 ② (内訳は以下の③～⑤参照)	所得 ①－②
	販売時生体重(kg)	販売価格(円)			
45,007	115.1	44,077	930	43,378	1,629

物財費 ③								雇用 労働費 ④	支払い利子・地代 ⑤
	飼料費	獣医師料及び医薬品費	建物費	光熱水料及び動力費	農機具費	繁殖めす豚費	その他物財費		
41,794	32,495	2,131	1,432	2,047	1,011	897	1,781	1,462	122

注1：副産物価格＝事故畜、販売された子豚、繁殖雌豚、種雄豚及びきゅう肥。

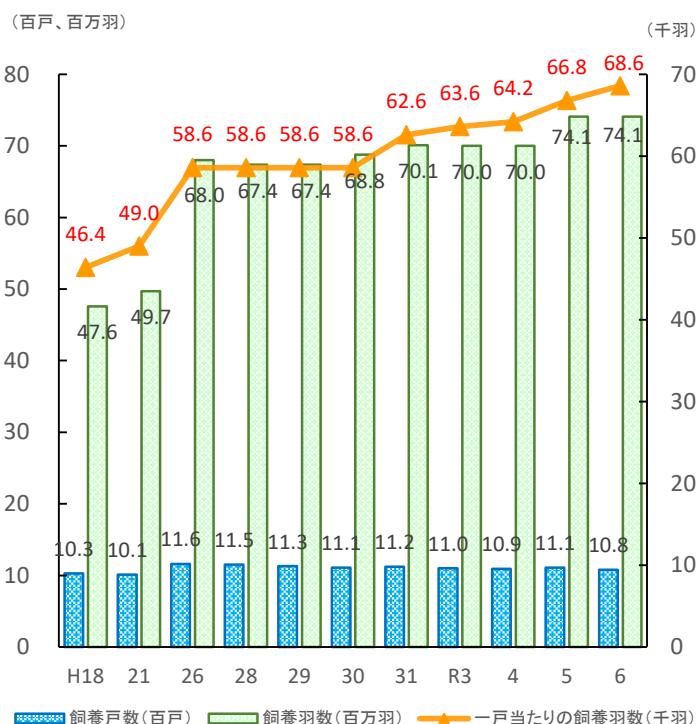
注2：調査期間＝令和5年1月1日から令和5年12月31日までの1年間。

資料：農林水産省「畜産物生産費」

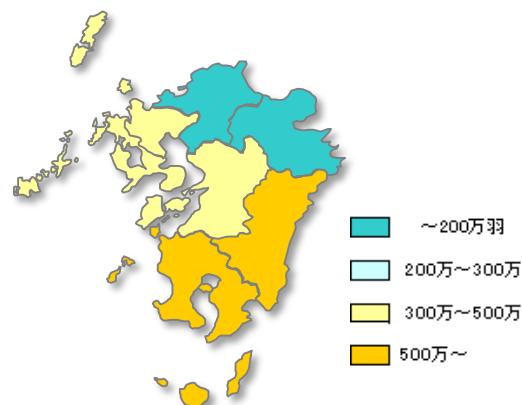
5 ブロイラー



1. ブロイラーの飼養動向（九州）



2. 九州各県のブロイラー飼養の現状 (令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全 国	2,050	144,859	-
九 州	1,080	74,080	-
(九州/全国)	(52.7%)	(51.1%)	-
福 岡	30	1,168	21
佐 賀	62	3,929	6
長 崎	48	3,297	9
熊 本	56	3,746	8
大 分	42	1,782	16
宮 崎	442	28,155	2
鹿児島	402	32,003	1

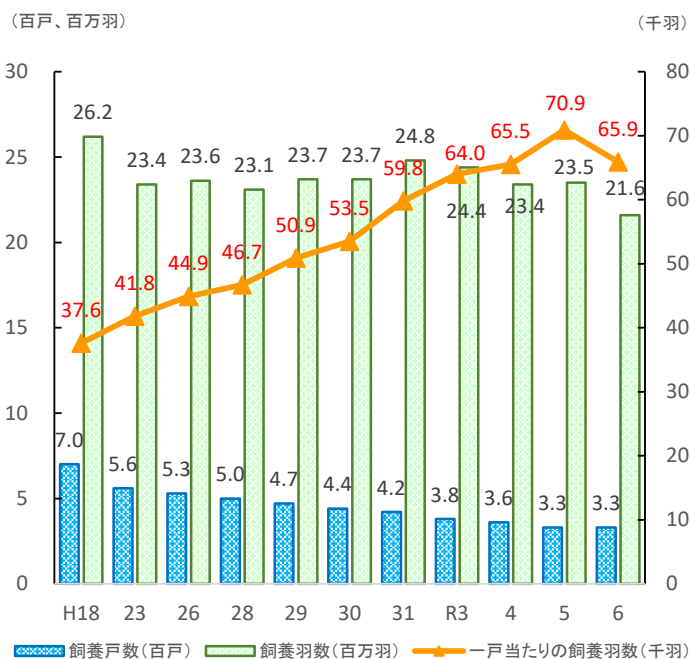
資料：農林水産省「畜産物流通統計」、「畜産統計」

注：平成22～平成24年までブロイラーの飼養戸数・羽数の調査は中止。25年から再開。平成27年、令和2年、令和7年は農林業センサス実施年のため調査休止。

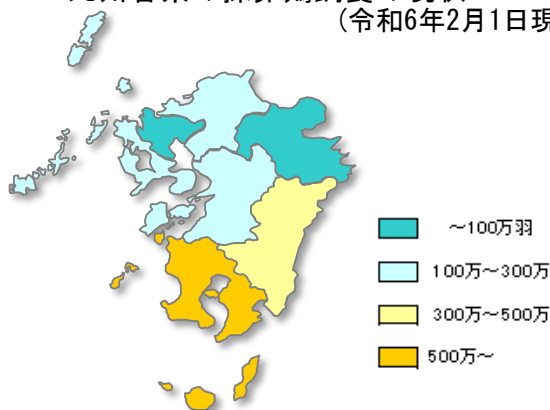
6 採卵鶏



1. 採卵鶏の飼養動向（九州）



2. 九州各県の採卵鶏飼養の現状 (令和6年2月1日現在)



	飼養戸数(戸)	飼養羽数(千羽)	飼養羽数の全国順位
全 国	1,640	168,599	-
九 州	328	21,601	-
(九州/全国)	(20.0%)	(12.8%)	-
福 岡	54	2,852	22
佐 賀	24	251	43
長 崎	51	1,826	26
熊 本	38	2,466	23
大 分	15	912	32
宮 崎	48	3,098	21
鹿児島	98	10,196	3

資料：農林水産省「畜産統計」

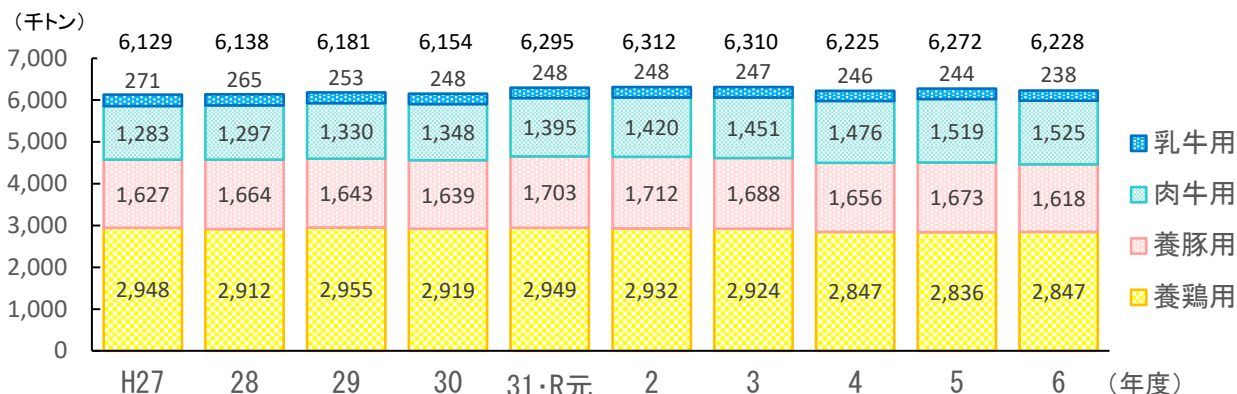
注：平成22年、平成27年、令和2年、令和7年は農林業センサス実施年のため調査休止。

注：飼養戸数＝種鶏のみ飼養者を除く戸数。
羽数＝種鶏を除く羽数。

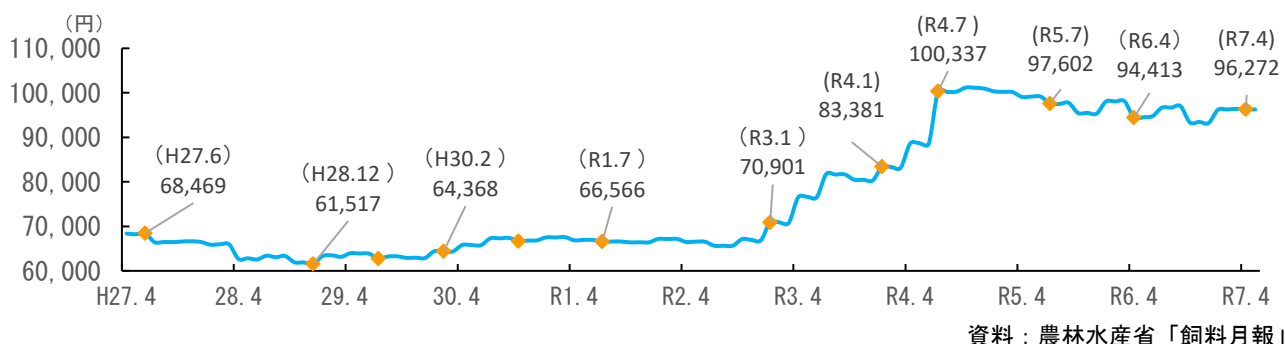
7 配合飼料



1. 配合飼料生産の推移（九州）



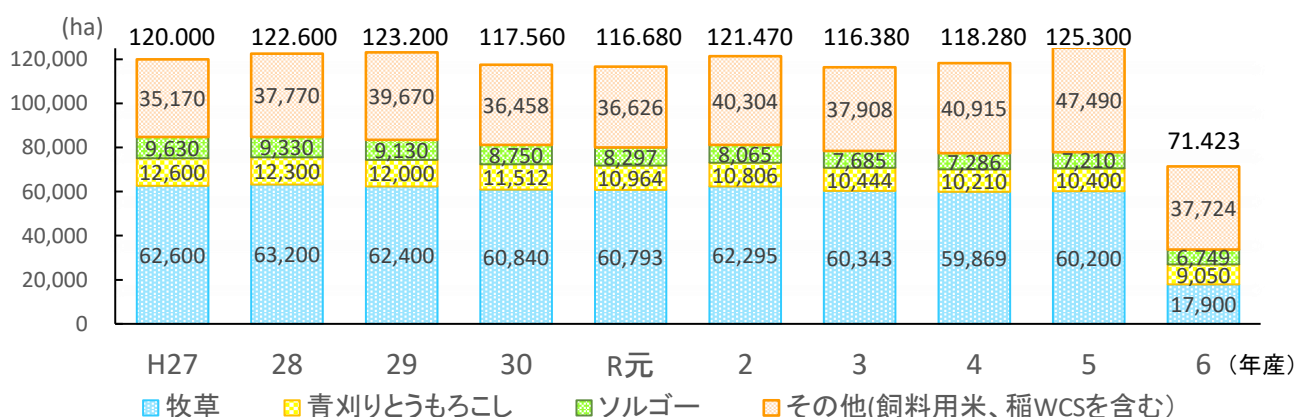
2. 配合飼料工場渡価格の推移〔バラ及び袋物の全畜種加重平均価格・税込〕（全国）



8 粗飼料



1. 飼料作物の作付面積の推移（九州）



注：令和6年から調査方法の変更により主産県を調査の範囲としている。

資料：農林水産省「作物統計」

2. 飼料作物作付の現状（令和6年産・九州）

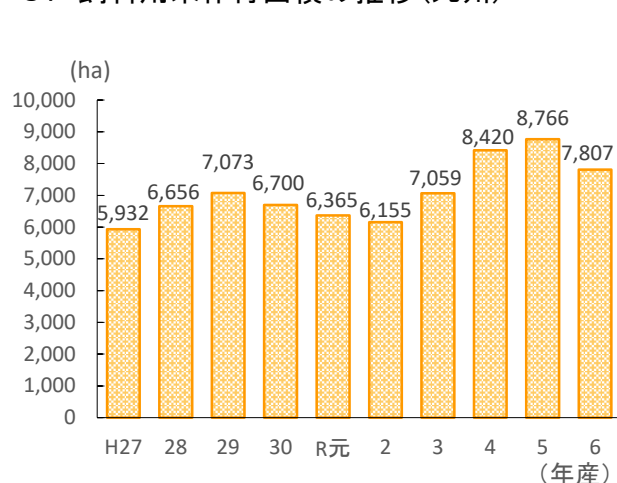
（単位：ha）

	計	牧草	青刈りとうもろこし	ソルゴー	その他
全 国	975,500	695,500	96,500	11,000	172,500
九 州	71,423	17,900	9,050	6,749	37,724
（九州／全国）	（7.3%）	（2.6%）	（9.4%）	（61.4%）	（21.9%）

注：令和6年から調査方法の変更により主産県を調査の範囲としている。

資料：農林水産省「作物統計」

3. 飼料用米作付面積の推移（九州）

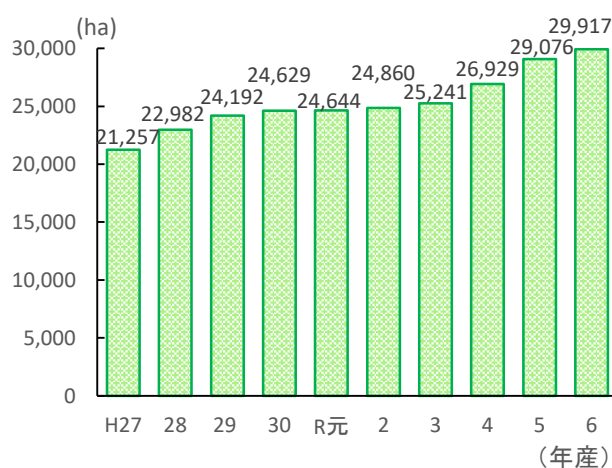


(単位：ha)

	H25	R2	3	4	5	6
全 国	21,802	70,883	115,744	142,055	133,925	98,666
九 州	3,086	6,155	7,059	8,420	8,766	7,807
(九州/全国)	(14.2%)	(8.7%)	(6.1%)	(5.9%)	(6.5%)	(7.9%)
福 岡	811	1,886	2,192	2,482	2,475	2,160
佐 賀	226	603	730	821	829	709
長 崎	112	111	112	121	117	122
熊 本	766	1,135	1,295	1,672	1,646	1,392
大 分	734	1,355	1,565	1,802	1,932	1,793
宮 崎	199	412	486	687	887	886
鹿児島	238	653	679	835	880	745

資料：新規需要米の取組計画認定状況

4. 稲発酵粗飼料の作付面積の推移（九州）

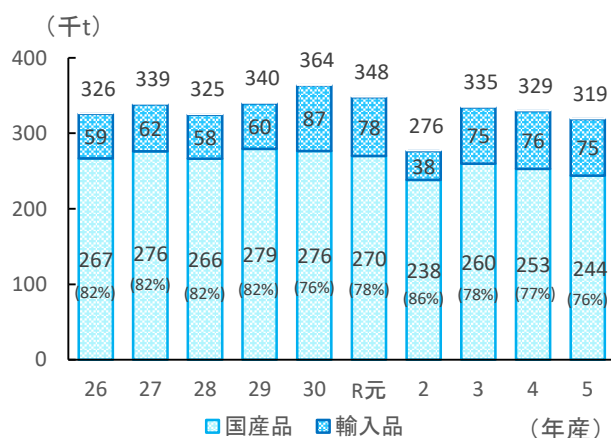


(単位：ha)

	H25	R2	3	4	5	6
全 国	26,600	42,791	44,248	48,404	53,055	56,479
九 州	15,018	24,860	25,241	26,929	29,076	29,917
(九州/全国)	(56.5%)	(58.1%)	(57.0%)	(55.6%)	(54.8%)	(53.0%)
福 岡	1,049	1,517	1,657	1,837	2,068	2,307
佐 賀	660	1,523	1,700	2,000	2,246	2,280
長 崎	463	1,244	1,307	1,384	1,549	1,597
熊 本	5,078	7,852	7,994	8,519	9,167	9,401
大 分	1,460	2,526	2,432	2,589	2,758	2,799
宮 崎	4,533	6,656	6,700	6,933	7,207	7,375
鹿児島	1,775	3,542	3,451	3,667	4,081	4,158

資料：新規需要米の取組計画認定状況

5. 稲わらの利用量の推移（九州）



6. 畜産農家における飼料用稲わらの産地別利用量（令和5年産：九州）

(単位：t)

	計	国産品		輸入品
		県内産	県外産	
九 州	319,225	243,820	14,355	75,405
福 岡	7,167	6,829	457	339
佐 賀	39,201	37,043	0	2,158
長 崎	29,792	24,043	6,376	5,749
熊 本	50,249	48,090	467	2,159
大 分	25,381	25,256	478	125
宮 崎	67,738	55,267	3,239	12,471
鹿児島	99,697	47,292	3,338	52,405

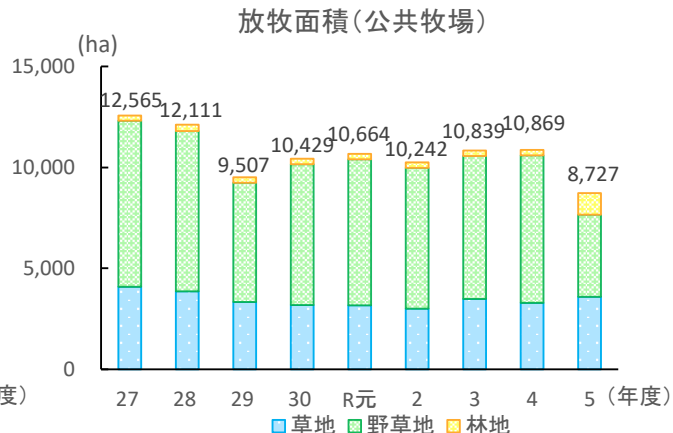
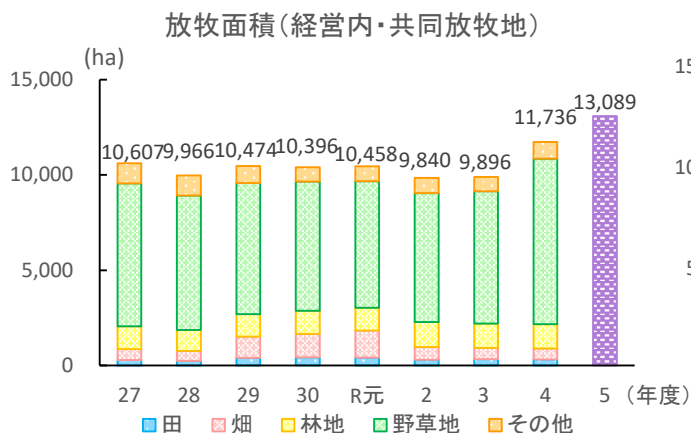
資料：九州農政局畜産課調べ

注1：()内の数値は、飼料用稲わらの利用量計に対する国産品の割合(%)。

注2：九州地域における稲わらの総生産量に対する飼料用仕向け割合は約32%(平成29年)。

注3：平成30年産から、調査内容の変更により、飼料用稲わらの利用量のみの。

7. 放牧面積の推移（九州）



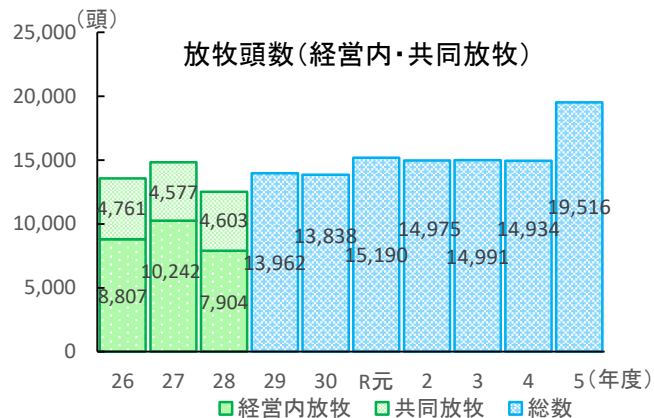
注：肉用牛・乳用牛を放牧している面積。

注：令和5年度から調査方法の変更により、合計値のみ。

資料：(一社)日本草地畜産種子協会調べ及び農林水産省調べ

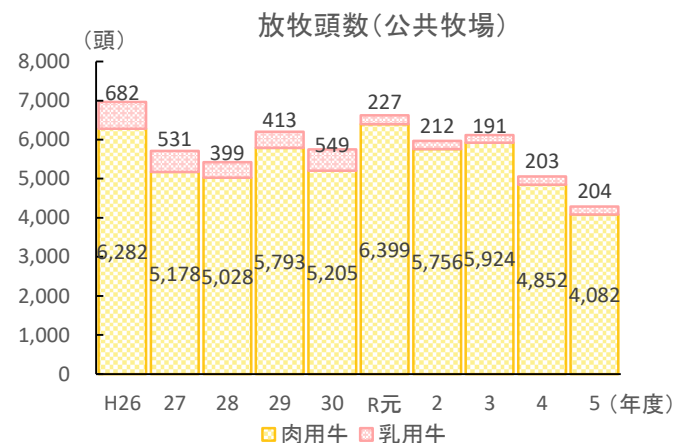
資料：(一社)日本草地畜産種子協会調べ及び農林水産省調べ

8. 放牧頭数の推移（九州）



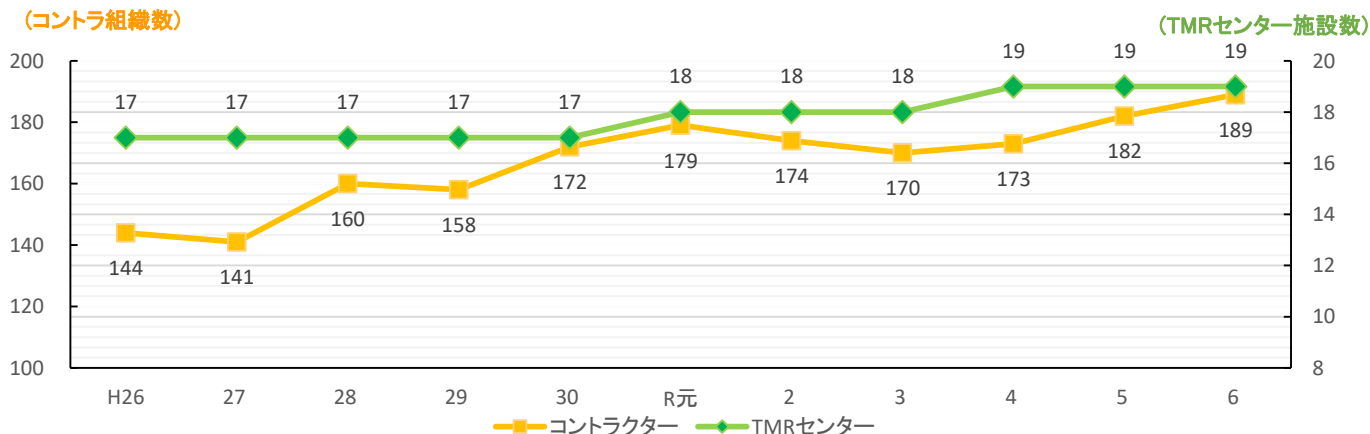
注：平成29年度から調査方法の変更により、合計値のみ。

資料：(一社)日本草地畜産種子協会調べ及び農林水産省調べ



資料：(一社)日本草地畜産種子協会調べ及び農林水産省調べ

9. コントラクター組織数及びTMRセンター施設数の推移（九州）



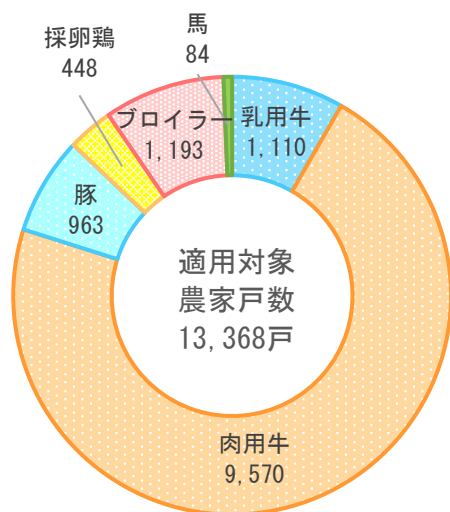
資料：九州農政局畜産課調べ

9 畜産環境



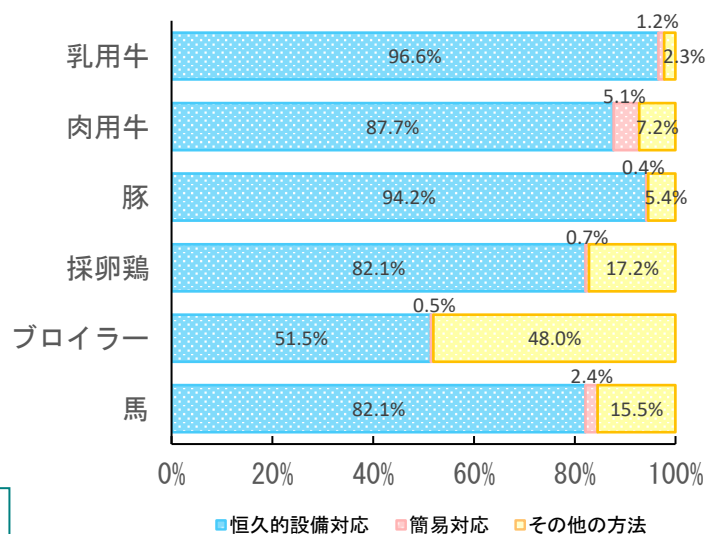
1. 家畜排せつ物法への対応状況(令和5年12月1日現在・九州)

(1) 管理基準適用対象農家戸数



※九州の管理基準適用対象農家戸数は13,701戸
(九州の全畜産農家戸数の58.9%に相当)。
このうち構造設備基準に適合の農家数は13,701戸。

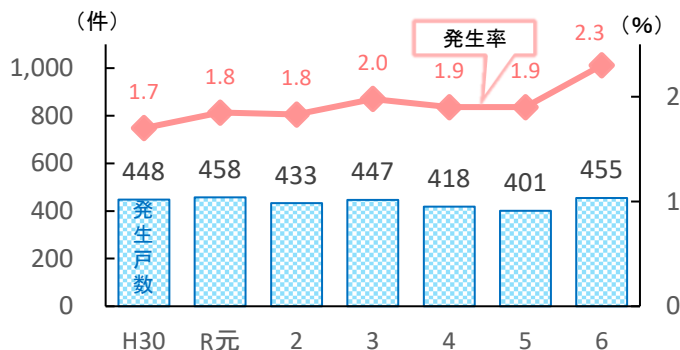
(2) 畜種別構造設備基準への適合状況



資料：農林水産省「家畜排せつ物法施行状況調査」

2. 畜産経営に起因する苦情発生状況(令和6年・九州)

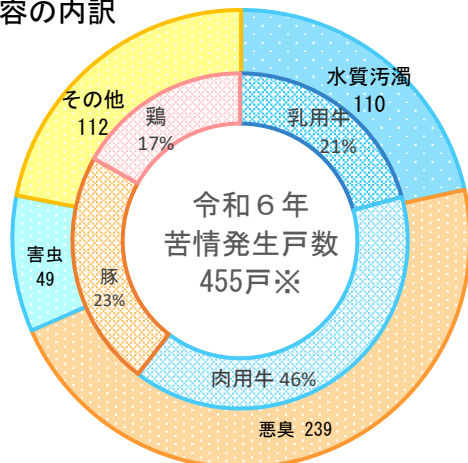
(1) 苦情発生戸数推移



(2) 畜種別苦情発生状況

畜種	飼養戸数	発生戸数	発生率
乳用牛	1,180	94	7.97
肉用牛	16,000	180	1.13
豚	945	105	11.11
鶏	1,408	76	5.40

(3) 苦情内容の内訳



※複数種類の苦情を併発しているものは1戸として計上しているため、苦情内容の内訳の合計とは一致しない。

資料：農林水産省「畜産統計(R6.2.1)」、「畜産経営に起因する苦情発生状況調査(前年7.1～調査年6.30)」

10 畜産における農業生産工程管理(GAP)について

畜産におけるGAP(Good Agricultural Practice:農業生産工程管理)とは、農業生産活動の持続性を確保するため、食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアに関する法令等を遵守するための点検項目を定め、これらの実施、記録、点検、評価を繰り返しつつ生産工程の管理や改善を行う取組のことです。

J G A P 畜産認証取得農場数及び一覧

令和7年3月31日現在

畜 種	農 場 数		所在地	名 称			
	全国	九州					
<乳用牛>	60	1	宮崎	株式会社松浦牧場			
<肉用牛>	78	20	熊本	独立行政法人家畜改良センター 熊本牧場	株式会社高原牧場	熊本県立農業大学校 (乳用牛を含む)	
				株式会社矢岳牧場 矢岳第2牧場	株式会社やました牧場		
			大分	株式会社スギモトファーム 山香牧場	株式会社スギモトファーム 久住牧場		
			宮崎	株式会社スギモトファーム 野尻湖牧場	宮崎県立農業大学校 (乳用牛を含む)	宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター 住吉フィールド (牧場) (乳用牛・豚を含む)	独立行政法人家畜改良センター宮崎牧場
				有限会社アグテック	マミー牧場		紅葉牧場
				コブキファームグループ 有限会社牛徳産業	高野牧場A牧場	高野牧場B牧場	
			鹿児島	鹿児島県立農業大学校 畜産学部 (乳用牛・豚を含む)	株式会社尾崎牧場		
					鹿児島県経済連 田代肥育牛センター		
<豚>	59	9	熊本	JA北九州ファーム株式会社 玉名農場			
			宮崎	有限会社エムケイ商事 崎山農場 (肥育)	JAみやざき養豚実証 白鳥繁殖農場	JAみやざき養豚実証 綾繁殖農場	JAみやざき養豚実証 山田第三肥育農場
			鹿児島	南州農場株式会社 佐多農場	南州農場株式会社 AIセンター	南州農場株式会社 根占農場	社会福祉法人 白鳩会花の木農場
<採卵鶏>	55	8	福岡	J R九州ファーム株式会社 飯塚事業所			
			熊本	トップ卵ファーム株式会社 合志農場	トップ卵ファーム株式会社 美里農場		
			宮崎	フュージョン株式会社 本社第1,2農場	フュージョン株式会社 新富農場		
			鹿児島	南九州エッグシステム株式会社 岐ヶ山農場	南九州エッグシステム株式会社 末古農場	鹿児島県立 鹿屋農業高等学校	
<肉用鶏>	17	1	鹿児島	鹿児島くみあいチキンフーズ株式会社 福山モデル農場			
合 計	269	39					

農場によっては複数の畜種で認証取得しているが、代表的な畜種でカウントしている。

【参考】農場HACCP認証農場数

令和7年5月23日現在

畜種	農 場 数	
	全国	九州
<乳用牛>	49	1
<肉用牛>	129	8
<乳用牛・肉用牛>	3	1
<養豚>	166	28
<養鶏(採卵)>	103	9
<養鶏(肉用)>	15	5
合計	465	52



11 家畜衛生



1. 主な家畜伝染病の発生状況(令和6年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
流行性脳炎 (牛)	頭	0	0	高病原性鳥インフルエンザ(鶏)	羽	59	8
流行性脳炎 (豚)	頭	5	0	高病原性鳥インフルエンザ(あひる)	羽	2	0
豚熱 (豚)	頭	20	0	高病原性鳥インフルエンザ(うずら)	羽	0	0
豚熱 (いのしし)	頭	0	0	高病原性鳥インフルエンザ(だちょう)	羽	0	0
ヨーネ病 (牛)	頭	1,198	9	高病原性鳥インフルエンザ(ほろほろ鳥)	羽	0	0
ヨーネ病 (めん羊)	頭	2	0	ニューカッスル病 (家きん)	羽	0	0
ヨーネ病 (山羊)	頭	6	0	腐蛆病 (みつばち)	群	16	0
ヨーネ病 (鹿)	頭	0	0	アナプラズマ病 (牛)	頭	0	0
伝達性海綿状脳症 (めん羊)	頭	2	0	ピロプラズマ症(馬)	頭	0	0

資料：農林水産省「監視伝染病発生年報」

2. 届出伝染病の発生状況(令和6年1月～12月)

	単位	全国	九州		単位	全国	九州
アカバネ病(生後感染)(牛)	頭	0	0	トリパノソーマ症(牛)	頭	0	0
アカバネ病(胎児感染)(牛)	頭	0	0	豚丹毒(豚)	頭	823	162
アカリング二症(みつばち)	群	78	19	鶏伝染性喉頭気管炎(鶏)	羽	0	0
悪性カタル熱(牛)	頭	0	0	鶏伝染性気管支炎(鶏)	羽	138	2
牛流行熱(牛)	頭	3	0	鶏白血病(鶏)	羽	1	0
馬パラチフス(馬)	頭	2	2	鳥マイコプラズマ症(鶏)	羽	13	4
馬鼻肺炎(馬)	頭	26	0	ネオスポラ症(牛)	頭	7	1
牛ウイルス性下痢(牛)	頭	124	29	ノゼマ症(みつばち)	群	17	0
牛伝染性リンパ腫(牛)	頭	4,420	1552	破傷風(牛)	頭	107	68
牛丘疹性口内炎(牛)	頭	7	0	バロア症(みつばち)	群	928	14
牛伝染性鼻気管炎(牛)	頭	12	0	ブルータング(牛)	頭	1	1
気腫疽(牛)	頭	1	0	ブルータング(めん羊)	頭	12	12
鶏痘(鶏)	羽	40	2	豚テロウイルス性脳脊髄炎(豚)	頭	3	0
サルモネラ症(あひる)	羽	3	0	豚赤痢(豚)	頭	66	56
サルモネラ症(鶏)	羽	1	0	豚繁殖・呼吸障害症候群(豚)	頭	53	3
サルモネラ症(牛)	頭	290	15	豚流行性下痢(豚)	頭	8	0
サルモネラ症(豚)	頭	143	92	マレック病(鶏)	羽	1,081	6
チュウザン病(牛)	頭	1	1	山羊関節炎・脳炎(山羊)	頭	0	0
チョーク病(みつばち)	群	448	0	ランピースキン病(牛)	頭	50	50
伝染性胃腸炎(豚)	頭	5	0	レプトスピラ症(犬)	頭	55	14
伝染性膿疱性皮膚炎(めん羊)	頭	4	0	レプトスピラ症(牛)	頭	0	0
伝染性ファブリウス嚢病(鶏)	羽	35	5	レプトスピラ症(豚)	頭	0	0
トキソプラズマ病(豚)	頭	23	0	ロイコチトゾーン病(鶏)	羽	5	1
鳥インフルエンザ(あひる)	羽	3	0				

資料：農林水産省「監視伝染病発生年報」



国産畜産物の 消費拡大にご協力ください！

食料自給率を上げるためには、生産を
増やすだけではなく、国産の畜産物を
積極的に選択していくことが大切です。



九州農政局 生産部 畜産課

〒860-8527 熊本市西区春日2丁目10番1号 熊本地方合同庁舎

代表TEL:096-211-9111 FAX:096-211-9780

